ボーリング柱状図

調　　査　　名　千葉市消防団第17分団１部器具置場改築地質調査業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	3	4	0	2	1	3	9	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	千葉市緑区越智町224-3			北　緯	35° 31' 32.00"
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成16年 6月14日～平成16年 6月14日	東　経	140° 14' 35.00"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H= 8.15m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YSO-1	ハンマー落下用具	トンビ
総掘進長	10.45m								エンジン	ヤンマー	ポンプ	V-6

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
	7.50	0.65	0.65		埋土	黒褐			ローム質土主体の埋土。植物根混入。		
1					粘土質細砂	茶褐～茶灰			含水量中～少ない。砂の粒子細かくほぼ均一。全体的に粘土分を含む。雲母片混入。下部に従いやや粘土分少なくなる。		
4	3.55	3.95	4.60								
5					細砂	茶灰			含水量中～少ない。砂の粒子不均一。部分的に固結状を呈する。		6/14/5.70
6	1.35	2.20	6.80								
7					粘土混り細砂	暗褐			含水量中位。砂の粒子不均一。部分的に粘土を不規則に挟む。9m付近やや含水量多い。		
9											
10	-1.95	3.30	10.10		細砂	灰			含水量中～少ない。砂の粒子ほぼ均一。比較的締まった砂である。		
	-2.30	0.35	10.45								

標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値 0 10 20 30 40 50 60
1.15	1	1	1	3/12	
1.45			8	30	
2.15	1	1	1	3/11	
2.45			9	30	
3.15	2	2	2	6/11	
3.45		9		30	
4.15	3	2	3	8/13	
4.45		7		30	
5.15	9	9	11	29/30	
5.45					
6.15	8	14	26	48/30	
6.45					
7.15	5	5	5	15/30	
7.45					
8.15	5	7	9	21/30	
8.45					
9.15	4	4	5	13/30	
9.45					
10.15	5	11	19	35/30	
10.45					

原位置試験 深度 m	試験名及び結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
2.00	T-1	T		
3.00				
5.15	P-1	P		
5.45				
7.15	P-2	P		
7.45				
10.15	P-3	P		
10.45				